

き

輝なんせ鳥取

2008.10
第11号

男女共同参画



鳥取市男女共同参画
シンボルマークが決まりました

最優秀賞

おくの えい いち
奥野 英一さん(京都府)

目次

- 鳥取市男女共同参画シンボルマーク …… 2
- インタビュー^{ひと}女と男^{ひと}
まちづくりレディース鳥取 ^{たまみ}西尾珠美さん … 5
- 訪問取材 “おじゃましま～す”
鳥取市国際交流員 ミハエル・シュルツさん … 6
- 「いきいき成器保育園」 …… 3～4

「鳥取市男女共同参画シンボルマーク」決定

鳥取市では、「男女共同参画都市とっとり」を宣言するなど、男女共同参画を重要施策として取り組んでいます。その施策の一環として、多くの方々に男女共同参画をより身近なものとして感じていただき、関心と理解を深めていただくことを目的に「鳥取市男女共同参画シンボルマーク」を募集したところ、北は北海道から南は鹿児島まで、日本全国より215人、349作品の応募がありました。選考の結果、次のとおり入選作が決まりました。

最優秀作品は、鳥取市の男女共同参画推進の様々な場面で活用していきます。

優秀作品



田中祥子さん（鳥取市）

最優秀作品



奥野英一さん（京都府）

優秀作品



川本智さん（長野県）

編集委員体験記

“男の料理教室”

cooking チャレンジ 男の料理教室 “そば打ち体験記” cooking

9月13日（土）、初めてそば打ちに挑戦した。工程は、水回し→まとめ→菊練り→へそ出し→地延し→丸出し→四つ出し→本延し→たたみ→包丁の10工程を約2時間かけて行うものであった。「一、鉢（3年） 二、延し（3ヶ月） 三、包丁（3日）」と言われているようで、最初の三工程が重要とのこと。

先生のアドバイスを受けながら一生懸命練った



一番重要な「水回し」作業中

が、額から脂汗。打ち終わったときの達成感は大なるものがあつた。作ったものを自宅に持ち帰り家族で食べたが、皆「おいしい」と言ってくれた。

自宅でも打ってみたいくなり、早速、用具一式を兵庫県小野市の業者に注文した。家族の喜ぶ顔が楽しみであり、料理の面でも少しは見直されることを期待している。



完成しました「バンザイ！」



湯谷園長へのインタビューの様子



保育士さん(写真右)へのインタビューの様子



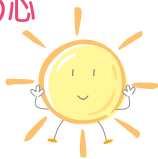
いきいき成器保育園

合言葉と5つのハート

Q ~とてもユニークな保育を
されていると伺いましたが~

A 「合言葉は『あたたかい子育て地域と共に』
です。子ども達の心に、次の5つのハート
が育ってくれることを願い、地域の皆さんの応援
を頂きながら、成器地区ならではの特色ある保育
を目指しています。」

- ♥ 命と物を大切に作る心
- ♥ ありがとう、おかげさまの感謝の心
- ♥ 人を思いやる優しい心
- ♥ 美しい自然と遊ぶたくましい心
- ♥ 地域の先生に学ぶ豊かな心



地域の先生に学ぶ笹舟づくり



手をあげて渡ろうね(交通安全教室の様子)

応援隊は強い味方

Q ~例えばどんなことをして
おいでですか?~

A 「地域の方が先生になって保育園に来て頂き、
園児と一緒にサツマイモやかぼちゃ・トマト
などの野菜作り、笹舟づくりなどの昔遊びや、
ボランティアのエプロンおばさんが作って下さる
お食事会などで、園児と交流しています。」

「また、園児も園の外に出かけて行き、イチゴ
狩りや殿ダム見学、近くの保育園や小学校との交
流など、いきいきとした体験をさせていただいて
います。」

「こんな取り組みを支えて下さるのは、地区内外
の個人やグループ、企業・団体の方々による『応
援隊』で、その数は、いま30を越しており、保
育園の心強い味方です」



お外で食べるとおいしいね!



たくさん穫れたよ



親子で料理たのしいな!

に」で 特色ある保育を目指す 器保育園」を訪ねて

今年の4月1日から、鳥取県内では初めて、保育園を地元の団体で自主運営されている、鳥取市国府町成器地区の「いきいき成器保育園」にお邪魔し、園長の湯谷さんと、保育士の中川さんに、熱い想いを伺いました。（編集員）



保護者と地区住民の熱い想いから



Q ～なぜ地元で運営するようになったのですか？～

A 「園児の保護者や、地区住民の皆さんの、『少人数でも、子どもの個性に合わせたきめ細かい保育がしてほしい』『地区の大切な子育ての拠点として残したい』という熱い想いが実ったものです。」

その結果、鳥取県内では初めて、地元の団体『いきいき成器保育園運営協議会』が保育園を受け継ぎ、自主運営することになったのです。」



すご～い！水車が回ってる



豊かな自然と温かい人情



Q ～保育園は、鳥取の市街地からとても近いんですね～

A 「そうなんです。保育園は、鳥取駅から車で20分弱の、鳥取市国府町中河原にあり、保育園のすぐ近くには、旧成器小学校を利用した遊びの空間『アトリエ小学校』があります。」

周辺は山間の豊かな自然に包まれ、温かい人情と、『いきいき成器』の合言葉どおりのとても元気な地区ですから、子育てにはぴったりの環境ですよ。」



家族のように温かく



Q ～絵本に出てくるような、小さくて可愛い保育園ですね～

A 「鳥取市から譲り受けた施設を、大切に使用して頂いています。園児は5名で、職員は4名が、月曜日から金曜日まで、2名体制で勤務しており、園長は成器地区公民館長が兼務しています。小さいですが、家族のように温かい保育園ですよ。」



ふれあい・家族・保育園



課題は園児の確保と維持管理



Q ～いろいろ課題もあると思いますが～

A 「まず『園児の確保』です。園児は成器地区の内外から、年間を通じて募集しています。1日や半日の保育や、体験入園も出来ますので、お気軽にご相談下さい。」

「それと『維持管理』が大変です。現在、鳥取市から特別交付金を頂いておりますが、経費はとても厳しい状況です。自助努力として、イベントへの出店や資源回収の収入、寄付金などを充てていますが、行政的支援を含めて、沢山の皆さんから、是非、お力やお知恵をお借り出来たらと思っています。」



まちづくりのモデルに



Q ～これからの夢は？～

A 「成器地区の豊かな環境を生かし、愛情いっぱい職員との心のふれあいの中から、お子様が心豊かに育つことと、そんな成長を喜び合えるネットワーク作りを通じて、『うちの子を、いきいき成器保育園に行かせたい』と言われるようにしたいですね。」

「そんな取組みが、保育園を核としたコミュニティの役割を果たし、過疎化が進む中山間地域の、新しいモデルになっていけたらと願っています。」

お問合せ先

鳥取市国府町中河原33

いきいき成器保育園（電話0857-58-0161）

ひとひと インタビュー女と男

まちづくりレディース鳥取 (男女共同参画担当)

西尾 珠美さん



「まちづくりレディース鳥取」は平成13年5月、鳥取市中心市街地商店街の女性がメインとなり設立された。商店街を取り巻く厳しい現状の中、“わたしたちのおもてなしは笑顔です。”をキャッチフレーズに、女性の豊かな感性と視点でいきいきとした楽しいまちづくりに取り組んでいる。

毎月1回の例会や役員会は、仕事を終えた午後7時から開催されるが、活発な意見交換の場となりいつも定刻には終わらない。出席できない会員もあるので共通理解を深めるための会報『レディースだより』を2ヶ月毎に発行している。

また、ホームページ(<http://ladies.cool.ne.jp/>)を開設し、会の様子や個店の紹介など情報発信力の充実を図っている。

毎年行う県外視察は、他団体との交流や連携、更には会員相互の親睦をはかり、まちづくりについての認識を深める良い機会となっている。

会独自のイベントとして、歩いて楽しめるまちづくり、文化によるまちづくり事業を企画し、既に実施して好評を得ている。

★七夕笹かざり

(今年は5回目。7/1~7/11実施)

季節感や街のにぎわいを創り出している。

✿城下町、はな*はな鳥取回廊

(今年は7回目。「クリスマス」をテーマに、華やいだ演出も企画中。12/4~12/8実施予定)

毎年自作の「心の花アート」を公募しショールームに展示している。幼稚園や小学校、養護学校、福祉施設などからも参加があり60点以上の作品が店頭を飾る。お店紹介のカラフルなマップを見ながら楽しく商店街を回れるよう工夫されている。

創る喜び、創ったものが人を喜ばせる喜び、様々な「心の花アート」の作品を味わいながら、親子で話したり、友人と話したり、お店の人と話したりと、たくさんの喜びと楽しさが街中にあふれるに違いない。



西尾さん(中央)へのインタビューの様子

“まちづくりレディース鳥取”の活動模様



商店街での七夕かざり



はな*はな鳥取回廊



ひとひと インタビュー女と男

鳥取市国際交流員

ミハヤエル・シュルツさん

鳥取市国際交流員 ミハヤエル・シュルツさんに聞きました！

来日して2年、来日してすぐは、千葉大学で日本語を学び、2007年8月来鳥し、国際交流員となる。

現在は、鳥取市の国際交流員として、市民を対象とした、ドイツ語講座の講師や小中学校、公民館での講演を通じて交際交流を進めているとのこと。

ドイツでの男女共同参画

日本に男女共同参画基本法があるように、ドイツでも男女共同参画基本法があり、男女平等を謳っている。

しかし、ドイツでの会社の現状はというと、管理職や高額給料の仕事をする女性の割合は23%と数字が示すように、女性の登用はまだ低い。ドイツ連邦政府は、産業の総括団体をパートナーとして、女性管理職の割合を上げるようにしている。

家庭での役割分担では、若い世代を中心に、出来ることは出来る人がし、家事、育児を性別に関わりなく分担している風潮がある。

国会へ目をやると、日本の国会にあたる連邦会議では、議員の31.6%が女性（ちなみに日本の国会議員に占める女性の割合は9.4%）。女性大臣の割合は37.5%。この数字が示すように、政治の分野では女性の進出が日本より進んでいる。

ドイツでの環境への取り組み

国民の環境意識は高い。ドイツの政党“緑の党”が中心となって、空気汚染、酸性雨への取り組みを行っている。電力エネルギーについて、環境にやさしい風力、太陽光等の利用が進んでいる。

日本に来て感じたこと

『人がやさしい、食べ物を大切にしている』といった良い印象の一方、『交通マナーが悪い。横断歩道に立っていても止まらない車が多い』との悪い印象も。物価については、ドイツに比べて日本はガソリン代が安い（ちなみにドイツは236円位）。また、ドイツの消費税は19%、タバコの値段は1箱780円位とのことに、びっくり。

鳥取の感想

鳥取は自然に恵まれており、他人へのサービス精神が旺盛で、生活も便利。街のサイズが私にぴったりで、とても気に入っている。

ホームシックにはならないのですか？の質問に、10代の時にアメリカに留学していた頃は少しあったが、今は全く感じない。（鳥取に魅力があるからかな）



シュルツさん（中央）へのインタビューの様子

取材をして

若きさわやかな青年(シュルツさん)へのインタビューを終えて、鳥取での生活にも慣れて、頑張るとエールを送りたい。

編集後記

子ども達が元気に遊んでいる姿に触れ、自分もあの頃に戻って、一緒に遊びたいと思いました。

気温33度を超える暑さの中、園長先生を始め、先生方が汗だくになって子ども達と向きあっていらっしやる姿が印象的でした。（有本）

日本国憲法の男女平等条項の生みの母、ヘアテ・シロタ・ゴードンさんの存在を最近知った。様々な先人の行動あってこそ今の現実があることに感謝。今回取材させていただいた西尾珠美さんも草分けの人。更に感謝。（岸本）

ミハヤエル・シュルツさんへのインタビューを終えて、ドイツは国家と住民を差別しない(平等である)の言葉に感銘。これからは男女共同参画の時代であるべきだと痛感しました。又来日して2年…日本語が上手、時折ニコッと白い歯をのぞかせ、印象的でした。（出村）

ミハヤエル・シュルツさんは旧東ドイツの出身であり、真面目で責任感の強さを思うと同時に、考え方に一種の固さを感じた。私の記事「男の料理教室」(2ページ)は、“そば打ち体験記”なのだが、どの工程も難しく、熟練の必要性を感じた。（並川）

き
●輝なんせ鳥取●
鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311番地
TEL (0857) 24-2704 FAX (0857) 20-3054
E-mail danjyo@city.tottori.tottori.jp
URL http://www.city.tottori.tottori.jp/

2009 鳥取・因幡の祭典

